



2021年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年6月11日

上場会社名 株式会社 オービス

上場取引所 東

コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

四半期報告書提出予定日 2021年6月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の業績(2020年11月1日～2021年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	4,485	1.1	78	55.7	104	28.2	6	
2020年10月期第2四半期	4,438	9.7	176	324.6	145	1,722.3	102	66.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	3.87	
2020年10月期第2四半期	59.30	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期第2四半期	13,941	3,706	26.6	2,125.06
2020年10月期	14,226	3,728	26.2	2,146.10

(参考)自己資本 2021年10月期第2四半期 3,706百万円 2020年10月期 3,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期		0.00		20.00	20.00
2021年10月期		0.00			
2021年10月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,146	2.9	122	63.9	121	63.4	17	92.8	9.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年10月期2Q	1,745,356 株	2020年10月期	1,738,596 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2021年10月期2Q	1,178 株	2020年10月期	1,178 株
-------------	---------	-----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年10月期2Q	1,739,360 株	2020年10月期2Q	1,732,707 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期財務諸表に関する注記事項	8
（追加情報）	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（2020年11月1日～2021年4月30日）のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が始まったことや政府による各種政策の効果、中国経済の回復等と相まって、景気の持ち直しが期待されるものの、変異ウイルスの感染拡大といった懸念材料により、その収束時期の目途は立たず、先行き不透明な状況が長期化する様相を呈しております。

このような環境のもと、当社は「中期経営計画チャレンジ110（イチイチゼロ）」（2019年11月～2022年10月）において重点課題として設定した「木材事業の通期営業黒字化」「ハウス・エコ事業の鉄骨製作Mグレード認定工場の取得」を軸とする持続的成長に向けた諸施策に引き続き取り組んでまいりました。また、中期経営計画の2年目となる当期は、ITの強化を進め、ペーパーレスやワークフローシステム、新たなWEB会議システム等の導入により、業務の生産性向上や多くの決裁業務の負荷軽減と迅速化に向けて改善を図ってまいりました。

その結果、売上高は44億85百万円（前年同四半期比101.1%）、営業利益は78百万円（前年同四半期比44.3%）、経常利益は1億4百万円（前年同四半期比71.8%）となりました。なお、特別損失に減損損失73百万円計上したことにより、四半期純損失は6百万円（前年同四半期は四半期純利益1億2百万円）となりました。これにより、純資産は前事業年度末の37億28百万円から37億6百万円となり、自己資本比率は26.2%から26.6%となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

(木材事業)

梱包用材等の受注環境は、依然として輸出用大型梱包等の案件が少なく、力強さに欠ける展開が継続し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により設備投資には慎重な動きが見られ、一層厳しさが増しております。また、各メーカーの工場操業度の低下や競合激化による売価下落等の収益悪化要因に大きな改善は見られず、大変厳しい事業環境が続いております。

原材料のニュージーランド産丸太（以下NZ松という。）の価格につきましては、中国が2020年11月から豪州産丸太の輸入停止に踏み切った以降、その代替としてNZ松の購買意欲が一気に高まったことに加え、世界的な船舶不足による船運賃の高騰と米国長期金利の上昇による為替円安（米ドル）の影響もあり、当第2四半期後半より原材料コストは総じて上昇いたしました。そのため、当社では原材料価格の安定している国産杉材がNZ松に代わって急激に製材シェアを伸ばし、生産効率の向上と相まって、繁忙期である2021年3月単月の製材量は2018年6月の福山工場稼働以降、過去最高の実績となりました。

このような環境のもと、同業他社との競合激化や生産工場の稼働率維持に起因する売価の低下はあったものの、既存取引先への深耕営業や販路拡大に対する営業活動が実を結び、また前期より取り組んでまいりました「脱・梱包用材」として背板を利用した米国向けフェンス材やCLT（クロス・ラミネイティド・ティンバー）向けといった新たな分野のお客様を開拓してまいりました。

その結果、製商品の出荷量は前年同四半期比15.2%増加し、売上高は31億18百万円（前年同四半期比111.1%）、営業利益は36百万円（前年同四半期比78.4%）となりました。

(ハウス・エコ事業)

公共投資は関連予算の執行により、今後も堅調に推移することが見込まれるものの、民間設備投資は企業収益の悪化や先行き不透明感の高まりにより、投資計画の見直しや先送りなど、当面慎重な動きが続くものと予測され、収益環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、受注の確保を最優先課題に、既存のお客様との関係を強化し、確かな技術力により新規のお客様の獲得を図り、工物品質・原価管理の徹底、業務効率化及び諸経費削減などの各施策を継続して実行し利益率の向上に努めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受注予定としていた工事物件が延期・中止となるなど、大変厳しい状況が続いております。

その結果、売上高は9億16百万円（前年同四半期比76.6%）、営業利益は22百万円（前年同四半期比16.6%）となりました。

（太陽光発電売電事業）

2020年12月に広島県北広島町太陽光発電所（発電容量約0.6MW）が完成し、売電を開始しました。これにより当第2四半期会計期間末現在の太陽光発電所は3県17ヶ所、総発電容量は約13MWとなり、いずれも順調に発電を続けております。

その結果、売上高は2億14百万円（前年同四半期比108.4%）、営業利益は1億11百万円（前年同四半期比126.8%）となりました。

（ライフクリエイト事業）

ゴルフ場部門におきましては、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るとともに、引き続き良質なコースコンディションの維持に努めてまいりました。また、スマホ決済システムのラインナップを更に充実し、お客様の利便性の向上を図り、来場者数の増員対策と併せて、建物施設及び周辺設備の修繕に取り組んでまいりました。

フィットネス部門におきましては、会員様に安心してご利用いただける環境を第一に考え、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図ってまいりました。その一方、新型コロナウイルスの感染拡大により、休会や退会を選択する会員様が増加し、新規入会される会員様も減少いたしました。

その結果、売上高は1億89百万円（前年同四半期比100.4%）、営業利益は3百万円（前年同四半期比49.4%）となりました。

（不動産事業）

賃貸マンションの定期的な保守メンテナンス及び住宅設備機器の更新を行うことで入居率及び定着率の向上を図ってまいりました。

その結果、売上高は45百万円（前年同四半期比98.5%）、営業利益は30百万円（前年同四半期比99.1%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して2億84百万円減少し139億41百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金が2億95百万円増加し、現金及び預金が1億43百万円、完成工事未収入金が1億6百万円、機械装置及び運搬具が1億44百万円、その他（流動資産）が1億65百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して2億62百万円減少し102億35百万円となりました。その主な要因は短期借入金が4億75百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が1億35百万円、長期借入金が5億60百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して22百万円減少し37億6百万円となりました。その主な要因はその他有価証券評価差額金が12百万円増加し、利益剰余金が41百万円減少したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の動向を踏まえ、2020年12月15日に公表した2021年10月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「特別損失の計上及び2021年10月期第2四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	612,830	469,117
受取手形及び売掛金	1,318,066	1,613,388
電子記録債権	59,675	87,556
完成工事未収入金	1,879,912	1,773,297
リース未収入金	1,414,073	1,426,996
商品及び製品	105,542	145,599
仕掛品	21,150	33,270
未成工事支出金	55,851	149,809
原材料及び貯蔵品	209,946	204,888
その他	278,089	112,135
貸倒引当金	△446	△531
流動資産合計	5,954,691	6,015,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,585,908	1,485,976
機械装置及び運搬具（純額）	3,019,952	2,875,442
土地	3,042,051	3,054,651
建設仮勘定	84,074	—
その他（純額）	333,606	327,616
有形固定資産合計	8,065,593	7,743,687
無形固定資産	26,813	21,282
投資その他の資産		
投資有価証券	62,931	82,478
その他	118,773	81,036
貸倒引当金	△2,028	△2,159
投資その他の資産合計	179,676	161,355
固定資産合計	8,272,084	7,926,326
資産合計	14,226,776	13,941,852

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	640,288	665,463
工事未払金	241,336	304,148
短期借入金	425,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,274,264	1,138,669
未払法人税等	74,017	28,246
賞与引当金	62,048	61,043
完成工事補償引当金	99	169
その他	1,253,847	1,197,480
流動負債合計	3,970,901	4,295,221
固定負債		
長期借入金	6,036,953	5,476,020
退職給付引当金	131,944	136,610
資産除去債務	7,899	7,930
その他	350,410	319,590
固定負債合計	6,527,207	5,940,151
負債合計	10,498,108	10,235,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	688,390	691,922
資本剰余金	516,390	519,922
利益剰余金	2,519,263	2,477,780
自己株式	△1,094	△1,094
株主資本合計	3,722,949	3,688,530
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,070	18,398
繰延ヘッジ損益	△351	△449
評価・換算差額等合計	5,718	17,948
純資産合計	3,728,667	3,706,479
負債純資産合計	14,226,776	13,941,852

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)
売上高	4,438,039	4,485,533
売上原価	3,658,419	3,769,618
売上総利益	779,619	715,915
販売費及び一般管理費	603,595	637,853
営業利益	176,023	78,061
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	683	723
仕入割引	476	763
受取賃貸料	2,400	2,400
補助金収入	—	51,116
その他	3,244	5,622
営業外収益合計	6,809	60,631
営業外費用		
支払利息	30,268	26,547
その他	6,853	7,476
営業外費用合計	37,122	34,023
経常利益	145,711	104,669
特別利益		
固定資産売却益	104	—
特別利益合計	104	—
特別損失		
減損損失	—	73,071
特別損失合計	—	73,071
税引前四半期純利益	145,815	31,597
法人税、住民税及び事業税	26,433	19,520
法人税等調整額	16,639	18,811
法人税等合計	43,072	38,332
四半期純利益又は四半期純損失(△)	102,742	△6,734

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	145,815	31,597
減価償却費	349,119	349,640
減損損失	—	73,071
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△150	216
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△88	△1,005
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	3	70
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,651	4,665
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△50,769	—
受取利息及び受取配当金	△689	△728
支払利息	30,268	26,547
補助金収入	—	△51,116
有形固定資産売却損益 (△は益)	△104	△77
有形固定資産除却損	0	103
売上債権の増減額 (△は増加)	2,306	△229,509
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△79,588	△141,076
前渡金の増減額 (△は増加)	△44,732	177,197
仕入債務の増減額 (△は減少)	87,263	87,987
リース前受収益の増減額 (△は減少)	38,312	78,367
その他	195,320	△121,636
小計	668,636	284,315
利息及び配当金の受取額	419	487
利息の支払額	△30,538	△31,143
補助金の受取額	—	51,116
法人税等の支払額	△5,832	△55,635
営業活動によるキャッシュ・フロー	632,684	249,140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,680	△1,680
有形固定資産の取得による支出	△74,539	△102,181
有形固定資産の売却による収入	112	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,106	△103,784
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△25,000	475,000
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△579,723	△796,528
リース債務の返済による支出	△33,872	△32,938
配当金の支払額	△34,475	△34,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373,071	△289,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	183,506	△143,713
現金及び現金同等物の期首残高	346,569	522,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	530,075	379,117

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

第2四半期会計期間末時点で入手可能な情報を踏まえて、前事業年度の有価証券報告書に記載した仮定の一部を以下の通り変更し、固定資産の減損損失認識要否の判定、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

当社のライフクリエイティブ事業セグメントにおけるフィットネスクラブでは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、政府より2021年4月に緊急事態宣言が発令されたことを受け、休会又は退会された会員数が元に戻るには相当の期間を要するものと考えております。当該状況による影響は、当事業年度以降においても一定期間続くものとして仮定の一部を変更しております。なお、その他の事業セグメントの仮定につきましては、重要な変更はありません。

なお、見積りに用いた仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルスの感染が拡大し、経済への影響がより一層深刻化、長期化した場合、当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイティブ 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	2,807,883	1,196,595	198,277	189,168	46,114	4,438,039
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,807,833	1,196,595	198,277	189,168	46,114	4,438,039
セグメント利益	46,844	138,279	88,221	6,361	30,631	310,338

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	310,338
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△134,314
四半期損益計算書の営業利益	176,023

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	3,118,726	916,631	214,869	189,873	45,432	4,485,533
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,118,726	916,631	214,869	189,873	45,432	4,485,533
セグメント利益	36,710	22,924	111,829	3,140	30,341	204,946

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	204,946
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△126,885
四半期損益計算書の営業利益	78,061

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	木材事業	ハウス・ エコ事業	太陽光発電 売電事業	ライフ クリエイト 事業	不動産事業	計		
減損損失	—	—	—	73,071	—	73,071	—	73,071